

1998年8月20日付の技術確認書

往復圧縮機： 吐出し量の向上、 振動・過熱の解消

フラドプロム閉鎖株式会社、洗濯工場の圧縮機・承認：フラドプロム閉鎖株式会社社長 V.A.バリシェフスキー
・処理実施：XADO有限責任会社（業務執行責任者 E.A.ガミドフ、技師長 S.N.アレクサンドロフ）
ウクライナ・処理・測定：1998年8月10日～20日・技術確認書：1998年8月20日付

製品

XADO技術による処理
XADO処理剤・対象機を取り外し・
分解不要の処理

試験対象

往復圧縮機
フラドプロム閉鎖株式会社洗濯
工場の空気圧装置

文書の種類

技術確認書
1998年8月20日付

機械類

試験開始時の状態

測定内容

洗濯工場の往復圧縮機

顕著な騒音・振動および過熱、5.8 atmまで
の充電時間9 min 45 s

空気タンクの充電時間・騒音・
振動・発熱

処理は1998年8月10日～20日、通常運転のまま実施した。対象機は取り外さず、分解もしていない。

主要な結果

↑ **7.3%**

圧縮機による5.8 atmまでの充電時間：9 min 45 s → 9 min 05 s

処理前後の測定（洗濯工場の圧縮機）

測定項目	処理前	処理後
空気タンクの充てん時間（5.8 atmまで）	9 min 45 s	9 min 05 s
騒音・振動	顕著	正常
発熱	過熱	正常

2回とも、同一圧力5.8 atmに達するまでの充てん時間を測定した。技術確認書の結論では、吐出し量の増加率および消費電力量の削減率は9.3%と記載されている。

技術確認書の結論

1998年8月20日付の技術確認書の結論には、次のとおり記載されている。「XADO技術による処理により、圧縮機の充てん時間は**40 s**短縮され、これに応じて吐出し量は**9.3%**増加した（消費電力量の削減は**9.3%**）。騒音は許容レベルまで低下した。振動および過熱は解消した。」処理前の圧縮機は騒音・振動が顕著で、過熱も生じていた。このような状態の対象機は、通常、分解を伴う修理に回される。本事例では対象機を取り外さず、分解もしていない。処理剤は運転中の機械に直接投入し、洗濯工場は10日間通常どおり稼働した。同じ技術確認書の測定表によれば、5.8 atmまでの空気タンクの充てん時間は**9 min 45 s → 9 min 05 s**であり、吐出し量の増加率は**7.3%**となる。圧縮機は同じ量の空気を、より短い時間とより少ない電力量で供給するようになった。

XADO

© XADO. 無断転載・複製禁止
本結果は、通常運転のまま処理したフラドプロム閉鎖株式会社洗濯工場の往復圧縮機に関するものであり、他の機器や運転条件では測定値が異なる場合がある。処理はXADO有限責任会社が実施し、同社が技術確認書に押印している。技術確認書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。